



# 兵庫県立柏原病院 がん相談支援センターだより

発行責任者 : 兵庫県立柏原病院 がん相談支援センター

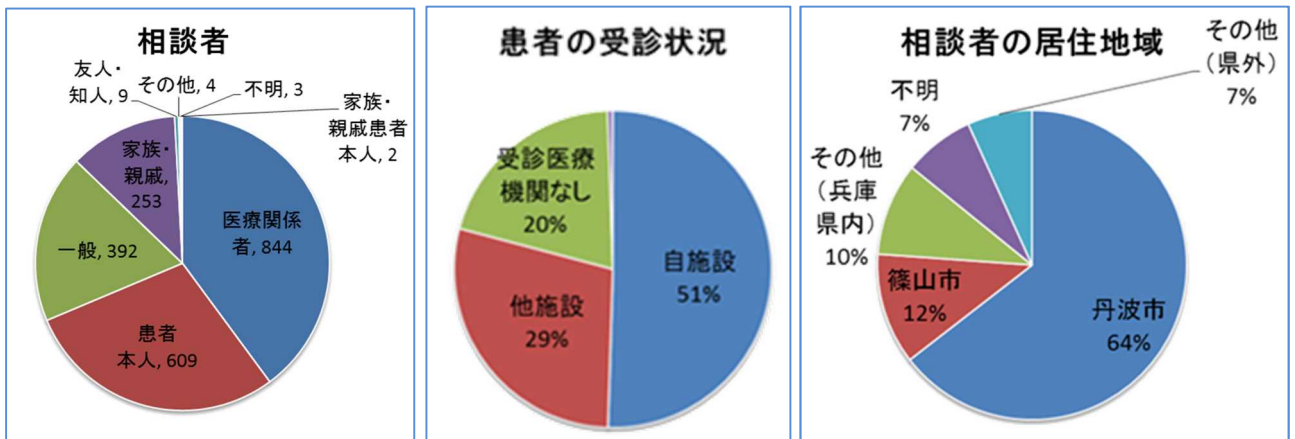


## 当院のがん相談年間利用状況

がん相談件数報告 平成 29 年 4 月 1 日～30 年 3 月 31 日 **相談件数 : 2,105 件**

昨年度も多くの相談をいただき、過去最高のがん相談利用件数となりました。がん相談支援センターの認知度も徐々に拡大してきているのを感じます。

相談内容 1 位の受診・入退院・転院相談は、「京阪神で治療をしていたが、自宅近くの柏原病院で緩和ケアを受けたい」といった相談や、緩和ケア病棟への転院相談が多くあります。近隣の開業医の先生方から緩和ケア外来への相談も増えてきました。



がんと診断されてからの心のつらさ、治療・症状についてのご相談、医療費や社会保障制度、就業についてのご相談も受けております。家族や友人の紹介、病院の掲示やのぼりでご相談の事を知ったという方も増えてきています。

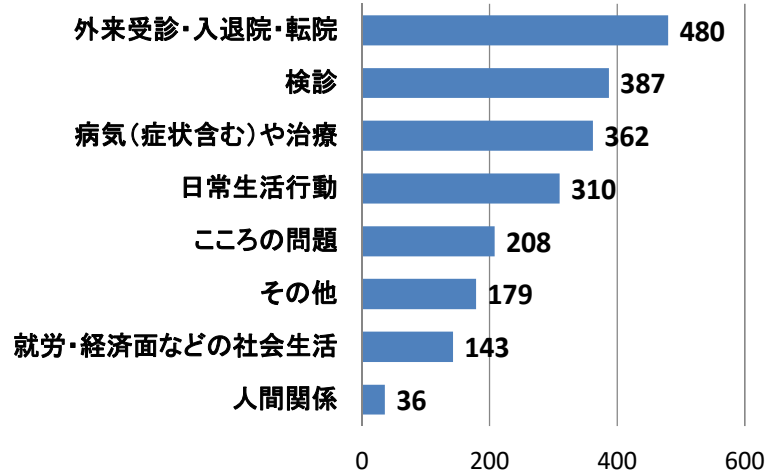
当院の受診が無くても

「どうしよう・・・」

と思われたら、ぜひ相談室をのぞいてみてください。



### 相談内容



# がん患者サロン



がんの患者さんやそのご家族など、同じ立場の人が、がんのことを気軽に本音で語り合う交流の場です



## 第 27 回 ～丹かふえ～

まごころ

4月24日(火)に9名の方が参加されました。今回は「がんと心」をテーマにがん相談廣瀬看護師からお話しを聞きました。

がんと診断を受けてからかかる様々なストレスにより、生活への適応能力が一時的に落ちると言われています。それは誰にも起こる可能性があり、それに対しての対策や自分でできることについてを、皆さんうなずきながら聞いておられました。他にリラクゼーション体操をしたり、黒ひげ危機一髪で楽しみながら自分たちの思いを語り合う会となりました。



## ～乳がん患者サロン～開催

3月16日(金)に2回目の乳がん患者サロンを開催しました。

治療の話や仕事・家事の話など、皆さんいろいろな思いを語り合い、和気あいあいとした雰囲気であっという間に時間が過ぎてゆきました。好評につき、今年から年3回の定期開催としました。また、会の名前を参加者の皆さんと検討しました。「病気になっているんなことが初めてで、ひよこやな。」「これからこの会が育つように、まだ私達ひよっこ。」と意見が出て、母体のがん患者サロン『丹(まごころ)かふえ』の『丹』と合体させ「**びよ丹かふえ**」と決まりました。



一人で悩まないで!

乳がんで治療を開始される方、治療中の方、そして治療が終了した方も、同じ思いを体験した人と一緒にお話するだけで、安心できることがたくさんあります。どうぞ お気軽にお越し下さい。

## 乳がん患者サロン

日時:平成30年7月13日(金)

13:00~15:00

(都合の良い時間帯にご参加ください)

場所:県立柏原病院1階 エレベーター側相談室

予約:不要

参加費:無料

お問い合わせ:兵庫県立柏原病院  
がん相談支援センター  
TEL 0795-72-0524 (代表)

## 丹かふえ・びよ丹かふえ年間予定表

6月	7月	8月	9月	10月
26日 丹かふえ		28日 丹かふえ		23日 丹かふえ
	13日 びよ丹かふえ			
11月	12月	1月	2月	3月
	25日 丹かふえ		26日 丹かふえ	
14日 びよ丹かふえ				8日 びよ丹かふえ

ご存知ですか？

# ～毎日をあなたらしく～ アピアランスケア



アピアランスケアとは、外見上の変化に対するスキンケアや化粧、整容的方法といった個別の具体的な手段の事だけでなく、その人らしい生活を送ることができるように支援することを言います。

つまり、化学療法や手術などで変化した部分をカモフラージュする方法を知ってもらうことだけではなく、外見の変化によって生じた「つらさ」を軽減するケアの事です。もし、外見が変化したことで「周りの人からどう思われるか気になる」「自分らしさがなくなったような気がする」「治療をする気になれない」など、悩むことがあれば、ぜひ私たちに相談してください。



必ずしも「治療前と同じ姿に戻る事」ではありません。治療前と全く同じ姿でなくても、周りの人のことが気にならなくなったり、自分らしさを実感できる姿であればよいのです。ウィッグや化粧を使わなくても、ちょっとしたきっかけで、安心できることもあります。



あなたらしく、いきいきした生活を送っていただける様にお手伝いしたい。そう私たちは思っています。いつでも相談室にお越しくださいね。



『自分らしくいること 元気であるコツ!』



## 「がん治療」を理解するための用語集

### ●エビデンス

英語の「evidence」を日本語に訳すと「証拠」「根拠」「証言」となり、「エビデンスに基づく治療」「エビデンスのある薬」といった使われ方をします。こういう場合は「根拠」という訳を当てはめるとわかりやすいでしょう。科学的根拠、つまり研究や調査など、効果の裏付けのある治療や薬ということになります。

### ●診療ガイドライン

ガイドラインは、政府や団体が「こうすることが望ましい」と示した大まかな方針で、診療ガイドラインとは、病気の予防・診断・治療などについて、診療の根拠や手順の最新の情報を専門家の手でまとめた指針のことです。患者さんと主治医が最適な治療法を決める際の、判断を支援するためのものです。

# がん相談支援センターをご利用ください



- がん相談支援センターは、「がん」に関するいろいろな相談をお受けしています。  
(病気のこと、治療のこと、治療費のこと、検診や予防のこと、不安な気持ちなど)
- がんに関するさまざまな情報を提供しています。  
(がんに関する資料、図書、DVD など)
- 患者さん、ご家族さん、当院受診の有無に関わらずどなたでもご利用いただけます。
- がん専門相談員(看護師・医療ソーシャルワーカー)がご相談に応じます。



相談費用は  
無料



秘密は厳守  
いたします

「がん相談」とお伝えください

開設日・時間 月～金(祝日を除く) 9時～17時

連絡先 兵庫県立柏原病院 がん相談支援センター TEL0795-72-0524 (代表)

～お知らせ～



## 第28回 がん患者サロン

日時：平成30年6月26日(火)

13:00～15:00

(ご都合の良い時間帯にご参加ください)

場所：県立柏原病院 1階がん情報コーナー  
(薬剤部前)

予約：不要 参加費：無料

### 当日の予定

13:00～14:50 おしゃべりタイム

一人で悩まず、患者さん同士で  
語り合しましょう

14:50～15:00 お知らせ

がんの患者さんやそのご家族など、  
同じ立場の人が、がんのことを  
気軽に本音で語り合う交流の場です

問い合わせ先：  
兵庫県立柏原病院 がん相談支援センター  
TEL 0795-72-0524 (代表)



貸し出し図書、新入荷しました!



編集

後記

これから蒸し暑い季節へ突入。気持ちまでジメジメならないよう、さわやかな風で吹き飛ばしていきたいですね。食中毒にはくれぐれもご注意ください。

## 集後記



がん相談支援センターだより

平成30年度 初夏号(第31号)

兵庫県立柏原病院  
がん相談支援センター発行

監修：大野 伯和  
編集：井上清美 廣瀬智子  
近藤孝子